

「アバンセ館長出前講座」の報告

2月16日(土)唐津市都市コミュニティセンター(唐津市家族を支える会主催)にて、館長の村上文が講演を行いました。

仕事と家庭の両立について～地域社会の中での仕事・子育て・介護～



仕事と子育ての両立には、職場での雇用側の配慮も必要だが、当事者もできる範囲で一生懸命やっていることを周りに示すことも大切。介護による退職の増加が見られるが、自分のため子どものためにも仕事は続けることが大事。介護は一人で抱え込んではいけない。介護保険制度を活用しプロの手を借りることも考えよう等、館長自身の経験談も交えながら、厳しい雇用状況の中で仕事と子育て、介護との両立にどのように向き合っていくのかの講演を行いました。

また、子育ても介護も、あらゆる地域資源を有効に活用できる才覚が必要だと呼びかけました。

【参加者の声】

- 〇現状の確認ができ、今後の流れを感じることができました。最近、聞くことのできない刺激を受けました。
- 〇働き方が大きく変わっている現実をデータで知ることができました。その上で、家庭との両立をどのようにしていくのか、子ども世代に貢献したいと思いました。
- 〇これから団塊の世代に介護が始まるので、企業の中で介護保険制度の勉強会を行うことは大切だと思いました。
- 〇統計資料は勉強になりました。これからの活動の中で使わせていただきたいと思います。

ゆめさが大学での講座報告

「ゆめさが大学」佐賀校および唐津校の基礎課程において「少子高齢化社会と男女共同参画」をテーマに出前講座を行いました。

館長に代わり、1月17日(木)佐賀校基礎課程2組の講座には副館長川久保三起子、3月6日(水)佐賀校基礎課程1組および3月11日(月)唐津校基礎課程の講座では男女共同参画センター事業部長武下浩信が講師として登壇しました。

【佐賀校基礎課程2組】



【佐賀校基礎課程1組(左)と唐津校基礎課程(右)】



超高齢社会、超少子化社会、男女共同参画の現状を確認し、これからの一人ひとりの豊かな人生に向けて必要な意識、それぞれの役割について考えました。

なかでも、各国の男女共同参画のランク付けや(日本は135ヶ国中101位)、男女共同参画の環境や意識の全国比較での佐賀県の現状に、「こんなに低いなんて…」、「思ったとおり!」「佐賀県も少しずつ意識改革ができていくのかな」「こんなに地域差があるなんてびっくりした」など、様々な反応がありました。そして、「地元の役員会にも女性を登用していきたい」「孫の世話、子どもの手伝いをもっとしたい」「60歳過ぎても元気な人はたくさんいる。その人達の力を合わせ、社会の一員として社会貢献していきたい」など、これからの出番や役割への展望も多数アンケートに寄せられていました。

【参加者の声】

- 〇男女共同参画に対する意識の向上をさらに心がけることと、実践しなければならないことを感じました。
- 〇高齢者も「支えられる側」から「支える側」にならなければならないと思いました。
- 〇日本は高齢化がさらに進み、経済的にも社会的にも厳しい状況になるので、男女問わず高齢者も含め、少子高齢化社会への対応の必要性を感じました。
- 〇男女平等といわれているが、まだまだ男女の差別と思われることが身近にもあります。男性の視点では気づかないことがいろいろあることを気づかされました。

[« 戻る](#)

[↑ このページの上へ](#)



 [アクセス・交通機関のご案内](#) ▶

 [お問い合わせ/ご意見・ご要望](#) ▶

アバンセ

佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815

佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】[公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

開館時間

火曜～土曜日:8時30分～22時00分

日曜・祝日:8時30分～17時00分

(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで